

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

Bevacizumab 併用化学療法後の再発卵巣癌のプラチナ製剤 free 期間と化学療法効果の後方視的再検討

SGSG-018

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院産婦人科

【研究責任者】 宇佐美 知香（産婦人科 助教）

【研究代表者】 川崎医科大学総合医療センター産婦人科学2 本郷 淳司

【研究の目的】

過去に受診された卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は卵巣癌、卵管癌、腹膜癌患者さんにおける有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2013年11月1日から2018年12月31日までに愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうちFIGO：III期以上の卵巣癌、卵管癌、原発性腹膜癌の診断で化学療法とアバスチン（ベバシズマブ）を投与し、その後アバスチン（ベバシズマブ）のみ投与を継続して行った患者さん

(利用するカルテ情報)

1) 患者基本情報

年齢、PS、臨床進行期（最終診断）、組織型（最終診断）

2) 治療情報

初回治療日、治療内容、手術日、化学療法使用薬剤・投与回数

治療の経過や再発進行診断日、その後の治療内容と効果

3) 生存情報

最終生存確認日、死因

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって川崎医科大学総合医療センターに送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 産婦人科
宇佐美 知香

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院産婦人科 宇佐美 知香

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5379